

24:10 バラクはバラムに対して怒りを燃やし、手を打ち鳴らした。バラクはバラムに言った。「私の敵に呪いをかけてもらうためにおまえを招いたのに、かえっておまえは三度までも彼らを祝福した。」

24:11 今、おまえは自分のところに引き下され。私は手厚くもてなすつもりでいたが、【主】がもう、そのもてなしを拒まれたのだ。」

24:12 バラムはバラクに言った。「私は、あなたが遣わした使者たちにも、こう言ったではありませんか。」

24:13 『たとえバラクが私に銀や金で満ちた彼の家をくれても、【主】のことは背くことは、良いことでも悪いことでも、私の心のままにすることはできません。【主】が告げられること、それを私は告げなければなりません。』

24:14 今、私は自分の民のところに帰ります。さあ、私は、この民が終わりの日にあなたの民に行おうとしていることについて、あなたに助言を与えます。」

24:15 そして彼の詩のことばを口にして言った。「ベオルの子バラムの告げたことば。目の開かれた者の告げたことば。」

24:16 神の御告げを聞く者、いと高き方の知識を知る者、全能者の幻を見る者、ひれ伏し、目の開かれた者の告げたことば。」

24:17 私には彼が見える。しかし今のことではない。私は彼を見つめる。しかし近くのことではない。ヤコブから一つの星が進み出る。イスラエルから一本の杖が起こり、モアブのこめかみを、すべてのセツの子らの脳天を打

ち砕く。

24:18 その敵、エドムは所有地となり、セイルも所有地となる。イスラエルは力ある働きをする。

24:19 ヤコブから出る者が治め、残った者たちを町から絶やす。」

24:20 彼はアマレクを見渡して、彼の詩のことばを口にして言った。「アマレクは国々の中で最高のもの。しかし、その終わりは滅びに至る。」

24:21 彼はケニ人を見渡して、彼の詩のことばを口にして言った。「あなたの住みかは堅固で、あなたの巢は岩間に置かれている。」

24:22 しかし、カインは滅ぼし尽くされ、ついにはアッシュルがあなたを捕虜とする。」

24:23 また彼は、彼の詩のことばを口にして言った。「ああ、神が定められたなら、だれが生き延びられるだろう。」

24:24 船がキティムの岸から来て、アッシュルを苦しめ、エベルを苦しめる。これもまた、滅びに至る。」

24:25 バラムは立って自分のところへ帰って行った。バラクも帰途についた。

結局は、その民であるイスラエルを守り、そして呪われることを許しませんでした。異邦の占い師でさえも、また王でさえも、主の主権の前には呪うことすらできなかったのです。

当時イスラエルは荒野を生きる民であり、荒野において他の民族の攻撃にさらされなければならない状況でした。その中で主のご計画が進む必要があったのですが、主は見事に彼らのを守ってくださったのです。

同じように現代の荒野を進む私たちもまた、異邦の地に進むものであり、異教の脅しにも直面す

ることがあるものです。しかし主は同じように私たちを守ってくださるのです。

感謝しましょう。そして主にしんらいしましょう。さらに前進しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

